

安全大会

舞浜スタジオにて、弊社社員と各協力会社様をお呼びして安全大会を開催致しました。1年に1度の大会ということもあり、約50名以上の方に参加していただきました。
9年前にNSS会が発足された経緯や取組みの一環として業界 全体の安全向上、事故撲滅に繋がる活動にしていきたいという思いと「安全を押しつけてまでする重要な事はない」という本多部長のお言葉のもと、開催されました。



高橋様 ありがとうございます!!

座学/体感訓練として株式会社杉孝 足場安全コンサルティング部高橋様を講師に迎え、実際にあった墜落災害事例のCG映像を視聴して危険箇所の確認や、建設現場での安全帯使用向上への取組みの紹介をしていただきました。



上の写真のような安全帯を使用したぶら下がり体験や落下時の衝撃実験をしました。
実際に間違った装着状態で安全帯のみでぶら下がった場合、腹部を圧迫されるため助けを呼びにくい等の支障がでます。安全帯は腰の正しい位置に付ける事が大切だと感じました。しかし、安全帯をしているからとは言っても体に与える衝撃は大きい為、やはり墜落防止の措置をしっかりと行う必要があると感じました。

初期消火訓練 in 舞スタ



懸命に消火訓練を行う総務 山口さん



消防局の方の説明を真剣に聞いています。



非常口が製作物で塞がれています...。注意しなければ...



煙体験を終えた 営業新人高橋君

4月27日、舞スタジオにて安全講習会を開催しました。午前中は毎年行っている消防訓練、午後は産業医の先生の講義と、日本ステージの自己分析でした。
今年、防火管理者の資格を取得された渡辺次長代理にお話を伺いました。
「防火管理者の仕事は、防災計画書、社内消防団の作成など、やらなければならないことはさまざまです。今回の訓練中に、消防の方から舞スタジオには消防上危険な箇所が多くあると指摘を受けました。避難口が塞がれていたり、大きな棚を作っていたり。。
社外の方も多く使用するスタジオだからこそ、もっと管理をきちんとしなければと身の引き締まる思いです。」